

# 社友会だより

## 第 12 号

発行 センツウ社友会  
 住所 東京都港区赤坂 2-4-5  
 〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)  
 ドコモ・センツウ株式会社内  
 編集者 大場省平

### ＊社友会ゴルフコンペ開催＊

#### 山形剛士さん 2 年連続優勝

平成 18 年 9 月 4 日 (月) クリアビュー GC (旧大根チサン CC) (千葉県野田市) において 18 年度ゴルフコンペが開催されました。

参加された方は、4 組 (14 名) でグロス 80 台の方が 3 名もおられる大接戦となりました。

スコアの集計等はゴルフ場に依頼し、順位が確定するのを待ってホテル内のコンペルームにおいて表彰式を行いました。

発表された順位は予想どおり、飛ばし屋の 3 強 (阿部さん、山形さん、林さん、) の争いになりましたが、ハンディホールの差で山形さんが 2 年連続優勝の栄冠を手に入れました。

なお、参加された方々と入賞された方は次のとおりです。

#### 参加者氏名 (スタート順・敬称略)

- 1 組 山根信義・檜尾政司・林 憲男・黒田繁雄
- 2 組 法安忠美・鈴木 徹・山形剛士・沖本良平
- 3 組 目黒 敏・堀川数好・立石孝男・
- 4 組 阿部正一・大村唱一・加藤恒男・

#### 入賞された方 (敬称略)

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット	その他の賞
優勝	山形剛士	88	15.6	72.6	
準優勝	阿部正一	84	9.6	74.4	DC
3 位	林 憲男	83	8.4	74.6	BG

#### 入賞者の喜びの声

##### ○優勝された山形さん

昨年に続き連覇することができました。

今回は新ペリアの隠しホールを知っていたかのように、トリは全て隠しホールで、バーディは隠しホールに入らず、運に恵まれただけの自慢の出来ない優勝でした。(ご免なさい)

毎回驚くのは、大先輩方の歳を感じさせない元気さです。

私も先々「最高齢」の山形様が優勝と記事に載る事を夢見て、先輩方に負けないよう、日々鍛錬を重ね頑張ります。

##### ○準優勝の阿部さん

本年度に新たに社友会に入会しました阿部です。

初参加の社友会ゴルフ大会で、準優勝の栄誉を達成することができました。私のゴルフ暦も 40 年以上になりますが最近では飛距離も落ちてくる等レベルも

落ち気味なので、今回の入賞を機会に、練習も強化して次回の優勝を目指したいと思います。

パートナーの大村さん、加藤さん、また幹事をつとめていただいた沖本さんどうもありがとうございました。

##### ○ 3 位の林さん

はからずも第 3 位と B・G を頂きまして有難うございました。

これも皆様のお心かげによる好天とパートナー (山根さん、檜尾さん、黒田さん) に恵まれ、楽しく出来たお陰と感謝しています。

今回のコンペで私の今年のベストスコア (42・41=83) が出せたのは、もう一つ沖本名幹事の提案によるところが大きいです。

「70 歳以上はゴールドティを使用することが出来る」です。

飛ばなくなった老ゴルファーにとっては心憎いほどのお心配りでした。ではお互いにお元気で。

#### 幹事から一言

今回のゴルフ会は快晴に恵まれたこともあり、今までにない最高の盛り上がりでした。

ただ、メンバー足りず 3 名の組が 2 組あり、2 人乗りの乗用カートだったため一人で 1 台を運転する事態になり、幹事として本当に申し訳ないと思っております。なお、表彰式の場で、これまで年 1 回だったコンペを 5 月 (連休明けの月曜日) と 9 月 (第一月曜日) の 2 回開催することに決定しました。

また、一人の幹事では十分な対応ができないので、次回は今回優勝された方とブービーの方の二人にお願いすることになりました。今後、地方の方にも参加して頂ければなお楽しいコンペになる、と思いますのでよろしくをお願いします。

本日はご協力ありがとうございました。

[レポート・沖本良平さん]

### ＊ 尾瀬横断撮影の旅 ＊

去る 7 月 2 日 (日) 午前 7 時 30 分、センツウ OB にして平均年齢 67 歳の 7 人の親爺達がカメラ片手に小田急本厚木駅前に集合、お馴染みクラブツーリズムのバスで尾瀬横断の旅に勇躍出発しました。

長駆、群馬・新潟県境の鳩待峠に昼頃到着、テプコのエコキャンペーン (尾瀬はラムサール条約・湿地に登録) に全員参加し、ゴミ回収袋を持たされました。



本日  
天気 変  
転 極  
まりなく、  
残雪の  
至 仏山  
を背に  
合羽を  
着たり

脱いだり、自慢のカメラをかばいつつ撮ったり、撮られたりと忙しくまた楽しく木道に歩みを進めたのでした。流石にゴミはひとかけらもなく、ゴミ袋はカメラの雨除けに役立ちました。

“見渡せば芭蕉もキスゲもなかりけり雨の尾瀬野の夏の夕暮れ” 嗚呼！

激しい雨の中、16時見晴の第二長蔵小屋に前後して全員無事到着！その後、嘘のように雨は止み、夕陽が指して木洩れ日にカッコウさえ鳴き始めたて

はありませんか。神の配慮か？小屋には酒も缶ビールもあり、先



を争って買い求め21時消灯就寝。

ちなみに尾瀬の野外トイレは全て有料、タバコは尾瀬中何処を探しても売ってありません。しかしドコモの衛星電話は方々で目にしました。

翌朝、朝まだき、M氏のウナサレ声に仰天し起床、晴れを予感させる清々しい早朝散歩の後、山小屋に



[ 前列左から、立石孝雄さん、鈴木勝男さん、林 稔さん  
後列左から清水高春さん、水谷進さん、佐々木正明さん  
鈴木徹さん ]

してはグーの朝飯を平らげ、08時出発。天気回復

の期待も空しく、又雨が！残雪残るコース一番の難所、白砂峠をヤットコサ越えて尾瀬沼へと重い歩を進めたのです。

ビジターセンターで休憩、燧ヶ岳の雄姿を雲中に想像し、只黙々と歩み続けるも、途中、中学生の団体と行き逢い“コンニチワ”を際限なくヤリトリさせられ疲れはてたのですが、山の挨拶は教育的見地からも止むなし。漸く昼前に雨と汗との濡れ鼠で沼山峠に辿り着きました。

全行程21キロ、合羽を友としカメラを庇う波乱に満ちたトレッキングでした。

水芭蕉は、散り、ニッコウキスゲはこれからという端境期、加えて2日とも雨の尾瀬ではありましたが、「シーズン中は混雑する木道はほぼ専用で、静かな良い時期を選んだ」との世話役のご託宣に渋々納得するメンバー達でした。

群馬側から回送されたツーリズムバスで上天気の檜枝岐温泉へ到着し、露天風呂で生き返り、漸く缶ビールにありつき皆さん一気に元気を回復しました。

帰途、所々で土産物屋に下車させられながら順調に20時前本厚木駅に到着するも、目出度く解散とならず、疲れ知らずのS氏に全員拉致され、駅前の高級？飲み屋で“良い写真撮れたか”反省会の後、無事お開きとなりました。お疲れ様でした！

[デジカメ愛好会より]

## \* 社友会へ入会勧誘のお願い \*

センツウ社友会の会員も、年を追うことに増えてきておりますが、それでもまだ未加入の方々がたくさんおられます。

私共の会運営の不手際や入会勧誘手法の未熟さも一因と反省しております。ご案内の通り、会員増強は、ここ数年来の主要懸案事項であり、担当役員もきめて努力をしているところですが、なかなか所期の成果があがりません。

会員の皆様の周辺に、先輩、同僚、後輩等で未加入の方がおられましたら、是非加入をお勧め下さい。

大勢の方々による親睦の輪を広げて行きたいと念願しております。ご協力をお願い申し上げます。

(事務局長)

[連絡先はお近くの役員まで]

沖本良平、佐々木正明、大場省平、大和田輝彦  
村上 功、金重 寛、長谷川英夫。

(その他、役員の誰でも構いません。)

《社友会に対するご意見・ご要望を  
お寄せ下さい。》

### ○連絡先 社友会事務局

住所 東京都皆地区赤坂 2-4-5 (国際赤坂ビル)  
ドコモ・センツウ(株) 総務部内  
長谷川英夫 事務局長

電話 03-5114-7550 FAX 03-3224-1002

次回の「社友会だよりは1月号となります。